

こんな**疾患**があります

痔核（主な症状は出血、脱出、疼痛）

...肛門周囲の静脈に血液がうっ滞することと静脈自体の脆弱化により発生する静脈瘤が原因です。出血が主たる症状の場合、その頻度と程度によりますが約10年前から始まった非手術的治療、つまり硬化療法により従来の手術一辺倒であった治療に大きな変化がもたらされ、患者様にとっては痛みが少なく、入院も1,2泊ですむようになりました。

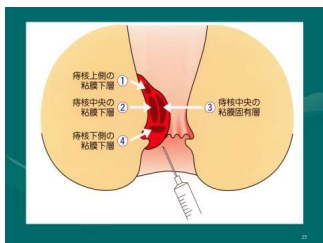


図1

この方法は痔核の根部から4箇所（図1）に痔核の大きさにより適正量の薬剤を注入し、人工的に化学的炎症を起こし、組織が炎症から回復する過程に起こる生体の変化、つまり痔核組織の繊維化、血管成分の激減、痔核の縮小・短縮、表面の硬化による痔核本体の消失を目指すものです。

出口Dr.からのコメント

この30年間で約2000例の治療経験がありますが、印象として従来の手術に劣らない、あるいはそれ以上の治療効果を得られています（図2,3は痔核、図4は脱肛症例）。



図2



図3



図4

何より術後の痛みがほとんどないこと、入浴を含め生活制限の必要がないことはまさに福音と言ってもいいでしょう。

一方、すべての痔核が硬化療法の対象であるわけでもありません。特に脱出して戻らない嵌頓痔核の場合はある程度以上の大きさであれば従来通りの手術対象になります。



痔核のみならず肛門周囲にまつわる症状、

誰にも話さず隠しておいたお尻の悩みのある方は

一度外来にお越しください。

最も適正な治療法をご提案したいと思います。

